



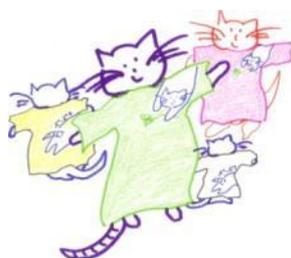
日本では、夏は花火の季節です。  
ポーポキは、花火の模様が好きですが、音は怖いです。

## Popoki's Hot News!



### ポーポキTシャツ!

ポーポキのTシャツは大人のサイズで、新たにつくりました。今回のライトイエロー、ライトブルー、SS-LLですが、以前からの子どもサイズ。一枚1500円で販売中!



イスがなくなったの色は、ライトパープル、グレー、白。サイズはサイズは残っています



### 「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だちの末原にゃんから、届いた平和：  
「平和を感じるのは、家族みんなが元気で食卓を囲む時」

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか?ぜひお聞かせください。  
ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki@gmail.com)!



NEW



### 夏限定 ポーポキうちわ!

今年は初めての試みとして、ポーポキうちわをつくり、300円で販売してみました。とても好評でしたので、ほとんど完売しています。  
来年も検討してみたいと思います。



いつもご協力、ありがとうございます!

「ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅」  
(エピック 2012)

はお陰様で好評です。ぜひ広めていただきたいです!

\*神戸YMCAでも販売していますよ!

本については、<http://popoki.cruisejapan.com/monogatari.html> をご参照ください。

# ポーポキがグローバル・ティーンズとWS

さとにゃん・ろにゃん

7月20日、さとにゃんとありぱんにゃんと一緒にろにゃんが平和と友情についてのポーポキ・ワークショップをしました。相手はシアトルYMCAと神戸YMCAのユース交流プログラムで来日中のメンバー(14歳から18歳)とリーダーでした。

今回のキーワードの一つは“音”。じっと耳を澄ます音、自分が発する音、感情を表現する音、勿論 平和の音など、ワークショップの中でいろいろな音と出会うことができました。途中まで小さなお友達(2歳)も居て、彼もカー杯音で表現してくれました。最後のワークのテーマは、「ポーポキと一緒に楽しみたいピース・ガーデン」で、それにも音も表現してもらいました。発表のとき、鳴き声や音の表現の仕方はみんな違って、面白かったにゃん。

このワークショップを通じて、自らについての新たな発見ができ、そして今までと違う「自分」を仲間とシェアすることができたと思います。私たちも参加者のみなさんとても楽しかったと思います。みなさん、ありがとう！





## からだを使って考えるヒロシマ

8月6日、アレキサンダー先生とさとこさんが、バケツと大きなチョークを持ってやってきました。だんだんみんなが集まると、私たちは公園の白いタイルの上に寝そべりました。地面から眺める空は広く、青く、静かでした。私たちは、「シャドーイング」を通して、からだを使って、ヒロシマでの経験を想像するために集まったのです。



私たちは順番に、お互いのからだを地面に写し始めました。ひざを曲げた形もあれば、描き手によってもシャドーの出来上がりは大きく違う。ポーポキも地面いっぱいにからだを伸ばして、シャドーのひとつに仲間入り。お互いに協力し、笑顔のあるひとときでした。



しかし、起き上がって地面に残ったシャドーを見ると、全く動かず、そこに張り付くシャドーを見ると、私は震えをおぼえました。

これが、私たち？

私たちの存在や、記憶や、それぞれの特別さが、どうやったらこの影におさまりきるといえるのだろうか…？

今も私たちは核の時代を生きているけれど、67年前にヒロシマとナガサキで起きたことは、やはり想像しがたいことです。

からだを使って、想像できない恐怖を想像しながら、私たちは地面に残るシャドーたちと一緒に、私たちの過去と未来に思いを馳せました。



## Remembering Hiroshima Day

永重 史郎



昨年に続いて、今年も 8:15 に黙とうしたのち、アメリカ・ピッツバーグ市の反核平和ネットワーク「Remembering Hiroshima, Imagining Peace」のメンバーとスカイプを使って核問題について意見交換をしました。昨年はどちらの側も野外でしたが、今年はポーポキの方が室内でプロジェクターを使って、壁に向こうの様子を映しました。ピッツバーグ側は、アメリカの核実験に関するドキュメンタリー映画「ニュークリア・サベージ」の鑑賞後で映画館の大きなスクリーンを使いました。ポーポキ・ピース・プロジェクトのメンバーは、自己紹介や、核兵器・原発についての意見を述べたり、

質問したりしました。Remembering Hiroshima, Imagining Peace の皆さんは、質問に答えたりしました。以下の文章は、しろニャンがスカイプやその後の振り返りの一部を紹介です。なお、ポー会メンバーのほとんどは原発をなくすべきと考えるが、その方法やタイミングについては、意見が異なります。(ろにゃん)

### ポーポキ・ピース・プロジェクトのメンバーの発言から

- 日本国内では、3. 11以降、原子力発電所の安全性や倫理的な問題（廃棄物処理の問題など）についての議論が高まっている。このことは、米国にどのように伝わっているか。
- 核兵器と核の平和利用（原発など）をわけることが果たして可能でしょうか。
- 原子力発電所の存続か廃止の問題に関して、米国では政府と企業、そして市民の間に考え方の相違はあるか。あるとしたら、どのようなものでしょうか。
- 原子力発電の使用に関して、どうして良いかわからない。なくしたいけど、自分自身の日常的な行動は電力に依存している。どうしたら一番良いかはわからない。
- 福島原子力発電所の事故によって、恐れていた放射能による汚染が現実になった。
- この問題について、無分別に行動することは良くなく、十分な考察なしに行動すべきでない。状況を鋭く熟考することは重要である。たとえば、原子力の利用は悪いと断定的に言明

するだけでは問題が解決しない。開発過程で、人類の医療向上、産業技術の進歩などの貢献も事実である。

- 子どもたちは、小学校・中学校・高校の早い時期に、広島か長崎に行けば、過去何が起こったかが理解できるだけでなく、現在何が問題なのかを考えることも出来るようになる。
- このような Skype での交流することは有意義で、継続したい。

### Remembering Hiroshima, Imagining Peace の方から

- （「核兵器についてどう思う？」という質問にたいする答え。）米国の一般市民には、広島・長崎に核兵器を利用したことや核実験をしたことに責任があるし、核兵器を大量に持っている国民として、核兵器の撲滅のために努力する責任もある。
- Shadow Project を含めて、私たちは、核廃絶を訴えながら、戦争にからむ様々な問題を視野に入れている。化学兵器ももちろん。こういった兵器が人間社会や環境に及ぼす影響なども活動のテーマであり、関心を高めていくことを目指している。
- 残念ながら、核問題について民間レベルでの認知度は高くない。この問題を意識している人はマイノリティである。
- 私たちは、少しずつではあるが、一緒にがんばれば必ず将来に希望を持つことができると確信している。

みなさん、ありがとうございました！



## 日本基督教団 東神戸教会の平和礼拝でメッセージとワークショップ



8月5日にろにゃんが東神戸教会に招待され、子どもたちの参加を含める「平和主日CS合同礼拝」でポーポキの絵本を読み聞かせし、平和のメッセージをとどけました。そして、礼拝のあとは、みなさんと一緒に



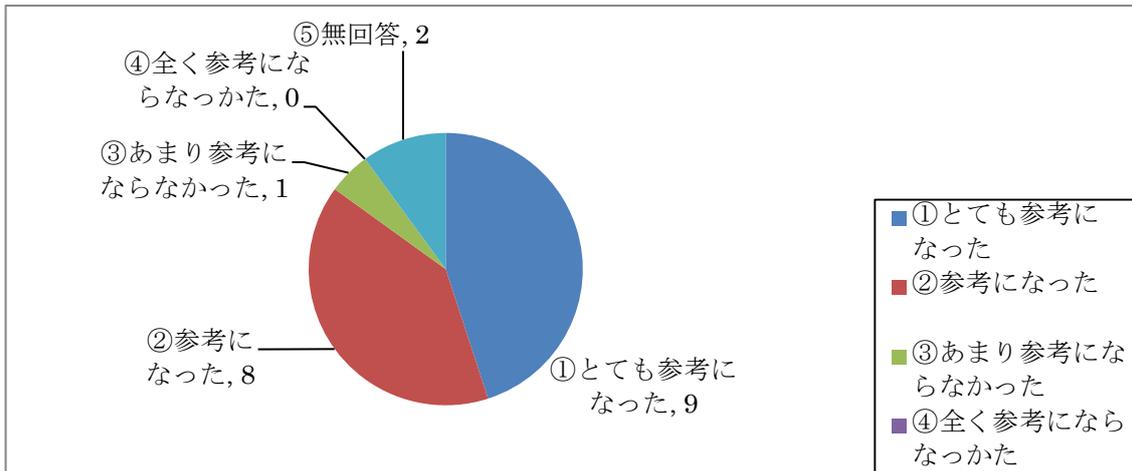
ワークショップをしました。おかげでポーポキに新しい友だちがたくさんできました。ヒロシマ・ナガサキの原爆を念頭に置きながら、広い意味での平和を考える貴重な機会でした。東神戸教会のみなさま、ありがとうございました。

## 第9回多文化共生のための国際理解教育・開発教育セミナー

8月7日にろにゃんが第9回多文化共生のための国際理解教育・開発教育セミナーでポーポキのワークショップをしました。お相手は学校の先生で想定した対象は小学生です。参加者から刺激をたくさんいただきました。終了後のアンケートに次のようなコメントが書かれていました。

I.ねこのポーポキと一緒に平和を作りましょう。

〈回答:20名〉



〈理由〉

### ① とても参考になった。

- ・静かでゆとりある空気間の中で、私自身「平和」を深く考えることができました。(短い間でしたが深く考えることもできました。自分でもびっくり。)
- ・もっとゆっくりといろんな人びとの声を聞きたかったのですが、五感を使って平和を考える様々なアクティビティーを体験してみて、もっと時間をかけて考えてみたいと思います。
- ・平和について、自らの活動によって学ぶことはとても重要なことだと思いました。
- ・平和のとらえ方の違いを発見できたから。
- ・ロニー先生がステキだったからです。いろいろがイイね。
- ・多様性を大事にするということで、予備知識に関わらず参加できるプログラムであり、いろいろ活用できそう。
- ・五感を含め、色々なことを考えさせてもらいました。
- ・“平和”という漠然としたものへのアプローチの仕方(色々)が参考になりました。学年に合わせてどう使うか、考えるのも楽しみになりました。
- ・実際に使える手法であったから。
- ・「平和」を考える際に、理論や言葉を並べただけの表現ではなく、いろいろな平和の表し方があると思いました。

### ② 参考になった。

- ・ポーポキを使って平和や友情を伝えることに感心したから。



- ・平和について興味をもったから。
- ・広島へ修学旅行に行くので、その際に一部使おうかな。
- ・短い時間の中で、色々淡々と盛り込まれていました。
- ・人々の多様性を再確認し、それらを理解していくことが大切だと思いました。

③ あまり参考にならなかった。

- ・平和＝幸せがごちゃごちゃになっている感じがした。

(情報・写真：JICA 関西より)



## ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

### Lesson 51

今月のポガのテーマは足！足が強くなる、そして癒されるといいですね。



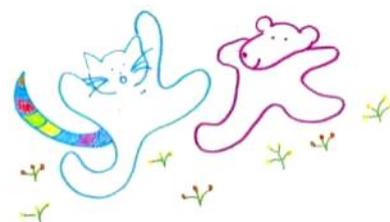
1. いつものように、背筋を伸ばし、自分を細く見せながらちゃんと座りましょう。
2. さて、左足をまげて、右足を後ろへ伸ばす。しっぽと手は上へ。
3. 次に、足を入れ替える！
4. では、疲れた自分にご褒美。鼻で大きく息を吸ってから、はきながら前へ脱力！
5. できた！できたポーズをどうぞ！

お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

## 一緒にいかが？

次回のポー会 8.29(水) 神戸 YMCA 19:00~20:50

- 9.8-9 ポーポキ友情物語 in 岩手県大槌町
- 10.13-14 ポーポキ友情物語 in 岩手県大槌町(予定)
- 10.18-21 ポーポキ at Pittsburgh Children's Museum
- 11.10 「平和と健康」 兵庫医療大学
- 11.23 ポーポキ友情物語 at IPRA 大会 (三重大学)
- 2013.3.21 ポーポキ at 国際ロータリー (予定)



ポーポキ通信のバックナンバー: <http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

- R. Alexander. "Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War." *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に9条がある」NO: 66 2012年5月12日[子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』 2012.1.21 (兵庫・29面)
- 「平和祈る声まとめ本に」 斎藤雅志 『神戸新聞』 2012.1.19 (伝える1・17 3・11、22面)
- K. Wada. "Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?" *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. "The Art of Healing"(Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) "The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 『『ポーポキ、平和って、なに色?』の背後にあるもの』(連載) とさぼりライフ第19号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで⑮(パレスチナについて)『神戸青年』 No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる！」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] [http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602\\_ja](http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja)
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 'Heart Lines' 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- "Human Rights, Popoki and Bare Life." *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色? ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第2号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャレンジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 『『ポーポキ、友情って、なに色?』「私のいち押し」奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通信)
- 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて～人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第35号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介: 『ポーポキ、友情って、なに色? ポーポキのピース・ブック2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第2弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色?」 KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色?」 KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか?」 RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ!!! プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介していただきました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組をクリック。番組CHの6CHをクリック。
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会 『世界人権宣言』 ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500円。詳しくは: [blrhyg@osk3.3web.ne.jp](mailto:blrhyg@osk3.3web.ne.jp)
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは?」 Kumamoto YMCA News 10 Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全30条 イラストで表現 地元ゆかり 6名がパネル制作」 2008.10.8. 10面
- 中国新聞「核廃絶への視点」 2008. 7. 27 (核抑止論について・・・。3時間!?!にわたる取材で一生懸命にポーポキのことを話したのに・・・。





## 私にとってのポーポキ

京都 山根和代

『ポーポキ友情物語』を日本平和学会大会で知り、早速読んでみました。10歳の孫娘に思っていたのですが、この本は日英バイリンガルであるので海外の平和博物館に送ると良いと思いました。早速イギリスのブラッドフォードにある平和博物館へ送ると、大変喜ばれました。その平和博物館には子ども達が行き、平和について学ぶことができますからです。

大きな布とマジックに様々なメッセージやイラストが描かれています。メッセージを書いた人はそれでどれだけ癒されたことでしょうか。また様々な国の人と繋がることができ、どんなに励まされたことでしょうか。

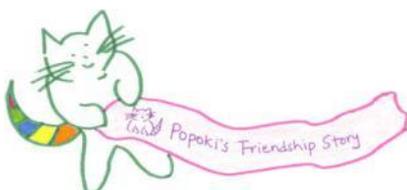
2011年3月11日の大震災以降、広島と長崎だけでなく、福島が世界で注目されています。大きな布は、様々な人々の「物語」を記録しています。この布を平和博物館で展示したらどうでしょうか。

世界には様々な平和博物館があり、平和のための博物館国際ネットワークがあります。ウェブサイトは次の通りです。

The International Network of Museums for Peace: <http://www.museumsforpeace.org/>  
私は様々な国の人に、『ポーポキ友情物語』を読んでほしいと思っています。



The INMP board members in The Hague, Netherlands



<http://popoki.cruisejapan.com>  
ronniandpopoki (at) gmail (dot) com

さらにご協力ください！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をきっかけに活動をしており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を2012年1月に発行します。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動を続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なさいたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の蘭をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、[popokipeace@gmail.com](mailto:popokipeace@gmail.com)へお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)



<http://popoki.cruisejapan.com>

郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



<http://popoki.cruisejapan.com>  
[ronniandpopoki\(at\)gmail\(dot\)com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail(dot)com)